

## 開 議

○高橋孝夫委員長 おはようございます。

これより決算特別委員会を開きます。

本日の会議に欠席の通告委員はございません。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

それでは、去る1日の本会議において、本決算特別委員会に付託になりました認第1号 平成19年度長井市歳入歳出決算認定について及び認第2号 平成19年度長井市水道事業会計決算認定についての2件について審査を行います。

審査日程につきましては既に配付しております会議日程表のとおりでありますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、これより各会計決算の概要について説明を求めます。

### 認第1号 平成19年度長井市歳入歳出決算認定について

○高橋孝夫委員長 まず、認第1号の平成19年度長井市一般会計歳入歳出決算について。

高橋信夫会計管理者。

○高橋信夫会計管理者 おはようございます。

認第1号 平成19年度長井市歳入歳出決算認定についてのうち、私からは一般会計歳入歳出決算の款項別計数について、お手元の事項別明細書によりご説明をいたします。

歳入より申し上げますので、決算書の27ページをお開き願います。

1 款市税の収入済額につきましては33億8,581万7,342円で、歳入総額に占める構成比率

は前年度より2.3ポイント上昇し、31.1%となりました。予算に対しては3,081万7,342円の増となり、前年度対比では税源移譲の関係もあり、9.7%、2億9,894万1,002円の増となっております。収納率は92.5%となり、前年度対比で1.5ポイント上昇しましたほか、不納欠損額については、前年度対比で約2,000万円減少し2,437万9,444円となっております。収入未済額については2億5,159万1,254円で、前年度対比4.1%、1,076万1,497円の減となっております。

1 項市民税の収入済額は14億6,615万2,712円で、税込総額の43.3%を占めております。予算対比では1,437万712円、1.0%の増となり、前年度対比では2億4,611万6,871円、20.2%の増となりました。

1 目の個人分の収入済額については、所得税よりの税源移譲がありましたことなどから、予算より1,937万4,681円多い、11億4,240万681円で、前年度対比30.3%、2億6,580万7,610円の大幅な増となりました。

一方、2 目の法人分の収入済額は3億2,375万2,031円で、予算対比1.5%、500万3,969円の減、また前年度対比でも5.7%、1,969万739円の減となっており、厳しい経済状況を反映する結果となりました。

2 項の固定資産税は、収入済額15億443万4,598円で、税込総額の44.4%を占めております。予算対比では1,379万1,598円、0.9%の増となり、前年度対比では4,843万9,669円、3.3%の増となりました。

3 項の軽自動車税の収入済額は5,977万1,592円で、税込総額の1.8%を占め、予算対比では1.3%の増となり、前年度対比では116万9,944円、2.0%の増となりました。

次ページ、4 項の市たばこ税の収入済額は1億8,711万7,627円で、税込総額の5.5%を占めております。予算とほぼ同額の収入済額となりましたが、前年度対比では269万4,053円、

+

1.4%の減となりました。

5項の特別土地保有税の収入はありませんでした。

6項の入湯税は、収入済額496万8,900円で、予算対比9.6%の増となり、前年度対比では437万3,400円の増となりました。

7項都市計画税の収入済額は1億6,337万1,913円で、税込総額の4.8%を占めております。前年度対比では153万5,171円、0.9%の増となりました。

次に、2款地方譲与税の収入済額は1億9,694万2,000円で、予算対比では1.3%の増となりましたが、前年度対比では税源移譲の関係から所得譲与税相当分が減額となっており、2億2,058万7,719円、52.8%の減となりました。歳入総額に占める構成比率は1.8%であります。

1項の自動車重量譲与税の収入済額は1億4,637万4,000円、次のページの2項地方道路譲与税の収入済額は5,056万8,000円となり、前年度とほぼ同額の収入済額となりました。

次に、3款利子割交付金につきましては、収入済額1,183万9,000円で、予算対比1.2%の増となり、前年度対比では29.9%、272万2,000円の増となりました。

次に、4款配当割交付金の収入済額は1,396万3,000円で、予算対比13.8%の減となりましたが、前年度対比では47.4%、449万8,000円の増となりました。

次に、5款株式等譲渡取得割交付金の収入済額は396万7,000円で、予算対比19.0%の減となり、前年度対比でも167万4,000円、29.7%の減となっております。

次に、6款地方消費税交付金については、収入済額3億240万5,000円で、予算対比0.6%の減となり、前年度対比でも722万7,000円、2.3%の減となりました。歳入総額に占める構成比率は2.8%であります。

次に、7款自動車取得税交付金については、

収入済額7,813万2,000円で、予算対比153万2,000円、2.0%の増となりましたが、前年度対比では884万3,000円、10.2%の減となりました。

次のページ、8款地方特例交付金の収入済額は2,486万円で、予算と同額であります。前年度対比では5,341万1,000円、68.2%の減となりました。

次に、9款地方交付税の収入済額は37億7,292万8,000円で、予算対比では1.5%の増となっております。前年度対比では6,881万8,000円、1.8%の減となりました。歳入総額に占める構成比率は34.7%となっております。

次に、10款の交通安全対策特別交付金の収入済額は628万9,000円で、予算対比12.3%の増となりましたが、前年度対比では2.8%の減となりました。

次に、11款分担金及び負担金については、収入済額1億4,775万5,028円で、予算対比150万7,028円、1.0%の増となりましたが、前年度とほぼ同額の収入済額となっております。

次に、次のページの12款使用料及び手数料については、収入済額は1億5,985万4,620円で、予算対比では0.6%の増となりましたが、主に1項の6目商工使用料及び8目教育使用料で伸びがありましたものの、2目民生使用料及び2項の1目総務手数料の減少により、前年度対比では108万1,750円、0.7%の減となりました。

次に、34ページをお開き願います。13款の国庫支出金につきましては、収入済額7億762万3,150円で、予算対比6,267万5,850円、8.1%の減となりましたが、前年度対比では9,407万1,730円、15.3%の増となりました。歳入総額に占める構成比率は6.5%であります。

1項の国庫負担金は、収入済額5億4,286万1,617円で、予算対比1.8%の減となりましたが、1目民生費国庫負担金等で伸びがあり、前年度対比では6,569万9,006円、13.8%の増となりました。

次ページ、2項の国庫補助金の収入済額は1億5,201万2,690円で、予算対比5,351万3,310円、26.0%の減となったものの、1目民生費国庫補助金や2目土木費国庫補助金で伸びがあり、前年度対比では2,551万550円、20.2%の増となりました。

次に、36ページをお開き願います。中ほどの3項委託金の収入済額は1,274万8,843円で、予算対比6.5%の増となりました。前年度対比でも286万2,174円、28.9%の増となっております。

次ページ、14款の県支出金は、収入済額5億2,543万8,526円で、予算とほぼ同額の収入済額となっており、歳入総額に占める構成比率は4.8%であります。1項1目民生費県負担金が前年度に比べ4,707万1,269円、22.9%の増になりましたことなどから、1項県負担金は17.7%増の2億6,041万1,319円の収入となりました。

次に、2項県補助金の収入済額は、4目農業水産業費県補助金の減少などから、前年度より3,380万2,363円、16.5%減少し、1億7,127万3,654円となりました。

次に、40ページ、3項委託金の収入済額は9,375万3,553円で、予算対比では1,090万6,553円、13.2%の増となり、前年度対比では主に1目総務費委託金で、徴税费委託金の伸びや参議院議員通常選挙がありましたことなどから5,087万8,603円、118.7%の増となりました。

次に、43ページの15款財産収入について申し上げます。収入済額は4,350万7,519円で、予算対比1.7%の減となりました。前年度対比でも2項の財産売払収入で1目不動産売買収入が減少したことなどから、前年度対比では687万4,370円、13.6%の減となりました。

次のページ、16款の寄附金の収入済額は48万1,696円で、備考に記載の寄附をいただきました。

次に、17款繰入金の収入済額は1億6,889万6,667円で、予算とほぼ同額の収入であります。

本年度の予算編成上、2項基金繰入金で、当初特定目的基金からの繰りかえ運用として3億4,900万円を含む3億5,020万円を予算化しましたが、最終的には1億6,711万6,667円の繰り入れとなりました。款全体では、前年度対比で7,174万2,667円、73.8%の増となり、歳入総額に占める構成比率は1.6%となっております。

次のページ、18款の繰越金につきましては、収入済額1億5,850万6,724円で、前年度対比では8,842万2,650円、35.8%の減となりました。繰越金が歳入総額に占める構成比率は1.5%であります。

次に、19款の諸収入は、収入済額2億9,952万8,488円となりました。歳入総額に占める構成比率は2.7%であります。予算対比では1,439万5,488円、5.0%の増となりました。主に1項1目延滞金、4項1目雑入などが増加したことにより、前年度対比では715万7,505円、2.4%の増となりました。

次に、49ページをお開き願います。20款の市債につきましては、収入済額は8億7,457万2,000円で、予算対比4.6%の減となりましたが、4目農林水産業債、6目土木債、10目臨時財政対策債で減少したものの、1目総務債、3目労働債、5目商工債、9目土地開発公社経営健全化対策債で増加があったことから、前年度対比では1億1,047万2,000円の14.5%の増となりました。歳入総額に占める構成比率は、昨年度より0.9ポイント上がり8.0%となっております。

以上から、歳入総額は108億8,330万6,760円で、予算現額に対しほぼ同額の収入となり、前年度対比では1億8,138万4,137円、1.7%の増となりました。

次に、歳出について申し上げますので、53ページをお開き願います。

1款の議会費は、支出済額1億7,240万436円で、予算執行率は99.6%、歳出総額に占める構成比率は1.6%であります。また、支出済額の

+

前年度対比では5.3%の減となりました。

55ページをお開き願います。2款総務費の支出済額は13億4,078万9,347円で、予算執行率は98.0%であります。歳出総額に占める構成比率は12.6%で、前年度対比では5,784万7,017円、4.1%の減となりました。

1項総務管理費の支出済額は9億8,553万8,412円で、予算執行率は97.8%となり、前年度対比では4,446万9,020円、4.3%の減となりました。

1目一般管理費では、主に人件費関係の増加があったことから、前年度対比8.5%の増となりましたが、57ページ、4目財産管理費では、庁舎修繕等工事費などが減少したことなどにより、前年度対比4.9%の減となりました。

60ページ下段の7目行政事務改善推進費では、前年度に繰越明許費分も含め、基幹系及び固定資産税システム開発等の業務委託を行ったことから、前年度対比では39.8%の減となっております。

次に、62ページ、10目長井ダム環境整備推進費では、前年度に道照寺平コミュニティセンター給水設備等整備工事費などを支出したことから、前年度対比では80.5%の減となっております。

次のページ、2項徴税費について申し上げます。支出済額は1億7,181万9,290円で、予算執行率は97.9%であります。また、前年度対比では1,662万214円、80.8%の減となりましたが、これは2目13節で基準宅地、標準宅地等不動産鑑定委託料等が増加したものの、1目で主に人件費関係の減があったことによるものであります。

次のページ、3項の戸籍住民基本台帳費につきましては、支出済額は9,522万8,925円となりました。予算執行率は98.9%であります。主に人件費関係の減少により、前年度対比では272万1,100円、2.8%の減となりました。

次に、次ページ、4項の選挙費であります。支出済額5,327万9,880円で、予算執行率は99.5%となりました。参議院議員通常選挙、山形県議会議員選挙、長井市議会議員選挙もありましたことから、前年度対比では1,487万887円、38.7%の増となりました。

次に、67ページ、5項の統計調査費は、支出済額1,185万386円で、予算執行率は99.6%となりました。主に人件費関係の減少がありましたことから、前年度対比では832万4,773円、41.3%の減となっております。

次に、次ページの6項監査委員費の支出済額は2,307万2,454円で、予算執行率は99.7%となりました。

次に、70ページ、3款民生費について申し上げます。支出済額は26億8,924万701円で、予算執行率は95.7%となりました。歳出総額に占める構成比率は25.3%で、前年度対比では5,336万6,544円、2.0%の増となりました。

1項の社会福祉費の支出済額は14億3,016万1,860円で、前年度より4,553万7,219円、3.3%の増となりました。1目の社会福祉総務費では、主に人件費や補助金、28節で国保会計への繰出金などが減少したことなどから、前年度に比べ1,278万7,032円、6.1%の減となりました。

2目の身体障害者及び知的障害者福祉費では、主に20節扶助費が増加したことから、前年度対比6.6%増の2億3,646万3,568円の支出となりました。

72ページ、3目の老人福祉費につきましては、13節委託料で前年度に高齢者生きがい活動支援通所事業の支出をしたことによる減があったものの、本年度は後期高齢者医療電算システム開発業務を行ったことによる増や19節で後期高齢者医療広域連合への負担金の増及び28節で特別会計への繰出金の増加がありましたことなどから、前年度より5.3%増の8億703万7,459円の支出済額となりました。

次に、74ページ下段の7目地域包括支援センター費では、支出済額3,515万3,649円で、主に人件費の増加により前年度より472万3,692円、15.5%の増となりました。

次のページの2項児童福祉費の支出済額は10億2,513万1,108円で、前年度とほぼ同額の支出となりました。

1目児童福祉総務費では、主に人件費の減少はあったものの、19節で保育園運営費関係の負担金が増加したこと、及び新たに清水保育園運営負担金が増加したことなどにより、前年度に比べ6,512万5,436円、13.1%の増となりましたが、目全体の予算執行率は86.8%で、19節で繰越明許費をもって白ゆり保育園施設整備補助金8,376万5,000円を20年度に繰り越しいたしました。

次ページ、2目児童手当費では、制度の拡充により20節扶助費の増加がありましたことから、前年度対比で2,575万5,409円、13.7%の増となりました。

3目児童センター費では、7節賃金で増加があるものの、人件費関係の減少により目全体では前年度対比2,561万3,234円、9.4%の減となっております。なお、清水保育園の民間委託に伴い、前年度支出いたしました保育園関連の目、保育園費は皆減となっております。

78ページ、3項の生活保護費の支出済額は2億3,394万7,733円となりました。1目生活保護総務費では、前年度に国庫負担金の返還があったことなどから、前年度対比では870万4,363円、24.3%の減となり、2目扶助費では、主に医療扶助費の増加から前年度対比1,531万4,445円、8.0%の増となりました。

次に、80ページ、4款衛生費の支出済額は10億3,289万2,421円で、予算執行率は99.2%になりました。歳出総額に占める構成比率は9.7%であります。前年度対比では1,269万4,439円、1.2%の増となりました。

1項の保健衛生費の支出済額は2億8,787万417円で、予算執行率は98.2%となりました。前年度対比では5.9%、1,796万2,241円の減となっております。

1目保健衛生総務費では、精神障がい者のための補助金や扶助費、さらに訪問看護事業特別会計への繰出金などの増加がありましたが、人件費関係費用などの減がありましたことから、前年度に比べ1,162万4,073円、6.4%の減となりました。

次に、82ページ、5目の老人保健事業費では、13節で健康診査委託料の減少などがありましたことから、目全体では前年度に比べ440万4,001円少ない5,777万2,951円の支出となりました。

次に、84ページ、9目環境まちづくり推進費では、前年度支出いたしました環境ISO更新審査委託料などがなかったことなどから、前年度対比96.8%の減、5万5,655円の支出となっております。

次に、2項の清掃費につきましては、支出済額は2億8,945万8,004円で、予算執行率は99.1%であります。

1目清掃総務費では、8節で集団回収実施団体報償費の減少、及び28節で浄化槽事業特別会計への繰り出しが減少したことなどにより、前年度に比べ640万5,157円、38.7%の減となりました。

2目衛生処理費では、主に19節で置広クリーンセンター分担金の減少がありましたことから、前年度より2,246万5,163円少ない2億7,930万3,728円の支出となりました。

3項の病院費は、主に置賜広域病院組合負担金の長井病院分及び特別交付税算入額分の増加により、前年度対比15.0%増の4億5,556万4,000円の支出となりました。

次に、86ページ、5款労働費に入らせていただきます。労働費の支出済額は1億593万4,960円で、予算執行率は99.7%となりました。歳出

+

総額に占める構成比率は1.0%であります。主な支出は、1目労働諸費では、勤労者互助会への委託料及び補助金合わせて492万2,000円、勤労者の生活の安定を図る貸付金5,500万円などとなっております。

2目の勤労センター費では、15節で改修工事費1,400万8,050円の支出がありましたことなどから、款全体では前年度対比1,109万4,177円、11.7%の増となっております。

次に、88ページをお開き願います。6款農業水産業費の支出済額は4億2,862万7,959円で、予算執行率は97.1%になりました。歳出総額に占める構成比率は4.0%であります。前年度対比では、1億6,839万1,799円、28.2%の減となりました。

1項農業費の支出済額は4億55万9,675円で、予算執行率は97.4%であります。前年度対比では4.9%、2,047万4,069円の減となりました。

2目農業総務費では、人件費関係費用を支出したほか、28節で農業集落排水事業特別会計の繰出金7,620万円を支出しております。人件費関係費用及び繰出金が減少しましたことなどから、前年度対比では4,121万3,318円、14.5%の支出減となりました。

3目の農業振興費では、19節で強い農業づくり交付金を支出したことなどなら、前年度より2,979万9,816円増の3,513万9,671円を支出しております。

4目水田農業対策費では、前年度に長井市土づくり活性化推進支援事業費補助金を支出したことなどから、前年度より57.0%減の331万6,977円の支出となりました。

次のページ、6目農地費では、19節で農地・水・環境保全向上対策共同活動支援市負担金等の増加があり、前年度より24.2%増の7,453万6,277円の支出となりました。

次に、93ページをお開き願います。11目有機物再資源化対策事業費では、前年度に15節でコ

ンポストセンター設備の維持修繕工事費及び18節で機械購入費を支出しましたことから、前年度対比1,608万5,276円、42.6%の減となりました。

2項林業費の支出済額は2,806万8,284円で、前年度に2目林業振興費で伊佐沢コミュニティ施設建設工事費のほか、関連する支出がありましたことなどから、前年度対比では1億4,791万7,730円、84.1%の減となりました。予算執行率は92.9%であります。

次に、96ページの7款に入らせていただきます。7款商工費の支出済額は3億536万2,875円で、予算執行率は98.1%となりました。歳出総額に占める構成比率は2.9%であります。前年度対比では、3,168万7,541円、9.4%の減となりました。

2目商工振興費では、19節で地場産業振興センターへの補助金が減少したこと、及び前年度に住民参加型まちづくりファンド拠出金を支出したことなどにより、前年度に比べ21.0%、3,701万9,329円の減となりました。

3目観光費では、13節で観光事業業務委託料やフラワー都市交流事業業務委託料を支出したほか、15節では久保ザクラ公衆トイレ工事費などを支出しましたことから、前年度対比24.1%増の8,268万4,258円の支出となりました。

99ページ、4目の企業振興費では、前年度にものづくりコミュニティ推進事業費補助金を支出したことや、設備投資補助金の減少などにより、前年度対比43.6%減の639万4,963円の支出となりました。

次に、100ページ、8款土木費につきましては、支出済額13億232万5,712円で、予算執行率は97.2%になりました。歳出総額に占める構成比率は12.2%であります。前年度対比では2.8%、3,493万1,594円の増となりました。

1項1目土木総務費では、人件費関係のほか、登記事務などの役務費を支出しております。

2項の道路橋りょう費は、支出済額5億718万951円で、前年度対比では9.5%、4,416万4,549円の増となりました。

1目では、人件費関係が増加しておりますほか、2目の道路橋りょう維持費では、前年度が暖冬であったことから、13節及び14節で道路の除排雪関係費用が増加しております。また15節では、道路整備工事費の減少があったものの、19節で県営事業負担金の増加があったことなどから、2目では前年度より6,021万4,321円増の2億9,150万9,462円を支出しております。

次に、102ページ、3目の道路新設改良費では、15節で道路改良工事費の増加がありました。13節で測量設計等業務委託料の減少がありましたほか、17節及び22節で減少がありましたことから、前年度に比べ2,485万4,941円減の1億8,616万9,565円の支出となりました。

次のページ、3項の河川費につきましては、支出済額6,394万1,940円で、予算執行率は97.0%となりました。

1目では、13節で河川維持補修等業務委託料572万6,996円を含む1,078万1,920円などを支出しました。

次のページ、2目の水のまちづくり推進事業費では、13節で測量調査委託料の減少がありましたこと、及び前年度に砂押川せせらぎ水路整備工事費関係費用を支出したことなどにより、前年度対比3,490万844円減の5,095万2,257円を支出いたしました。

次に、4項の都市計画費の支出済額は6億8,744万1,142円で、予算執行率は98.6%となりました。前年度対比では4.3%、2,842万9,143円の増となっております。

1目で人件費関係の増がありましたが、2目公共下水道費では、前年度より4,170万円減の5億6,230万円を公共下水道特別会計に繰り出ししております。

4目都市整備費の支出済額は1億180万5,969

円で、15節工事請負費で繰越明許費分も含め、小桜館周辺整備の工事などを行ったことから、前年度対比では5,529万5,690円、118.9%の増となりました。

次のページ、5項の住宅費は、人件費関係費用のほか、15節で舗装工事費などを支出したことにより、前年度対比3.6%増の2,161万9,409円の支出となっております。

次に、108ページをお開き願います。9款消防費の支出済額は5億9,036万7,010円で、予算執行率は99.8%となりました。歳出総額に占める構成比率は5.5%であります。

1目の常備消防費の支出済額は5億1,975万4,834円で、西置賜行政組合への分担金であります。

2目の非常備消防費の支出済額は3,947万3,320円で、団員への報酬や費用弁償、県消防補償等組合費負担金、分団運営交付金などが主な支出であります。

3目消防施設費では、18節で消防ポンプ自動車を購入したほか、19節で消火栓工事関係の負担金などを支出しております。

4目防災費では、19節で県消防防災ヘリ運航連絡協議会負担金219万円など、351万853円を支出しております。

次に、110ページをお開き願います。10款教育費の支出済額は8億429万3,675円で、予算執行率は97.6%となりました。歳出総額に占める構成比率は7.6%であります。前年度対比では4,688万5,729円、5.5%の減となりました。

1項教育総務費の支出済額は1億724万7,491円で、予算執行率は97.4%となりました。前年度より168万6,399円の減となっております。

2目事務局費では、事務局職員の給与等のほか、19節において小中学校各種大会出場費補助金、私立幼稚園就園奨励費補助金、子育て支援事業補助金などを支出しております。

次に、112ページ、2項の小学校教育費は、支出

+

済額1億3,510万241円で、予算執行率は97.2%となりました。前年度対比では689万2,201円、4.9%の減であります。

1目の学校管理費では、15節で長井小学校体育館南側駐車場の舗装工事等があったものの、11節で修繕料が減少し、また13節では前年度に長井小学校プラタナス枝打ち業務委託料などを支出したことにより、目全体では206万8,635円、1.8%の減となりました。

2目の教育振興費では、主に11節で消耗品費及び図書購入費の減少があったことから、前年度より482万3,566円減の2,451万5,073円を支出いたしました。

次のページ、3項中学校費の支出済額は1億665万4,498円で、予算執行率は94.9%となりました。前年度とほぼ同額の支出となっております。

1目学校管理費では、18節で減少がありましたが、主に人件費関係費用の増加があり、前年度対比では637万7,772円の増となっております。

また、2目教育振興費では、前年度に教師指導用教科書を購入したことなどから、前年度より635万3,762円の減となっております。

次に、116ページ、4項社会教育費につきましては、支出済額3億2,871万4,845円で、予算執行率は98.3%になりました。前年度対比では6.6%、2,318万8,350円の減となっております。

1目の社会教育総務費は、主に人件費関係の支出で、総額1億5,462万8,387円を支出しました。

2目生涯学習推進費では、8節で放課後子どもプラン関係の報償費や13節で青少年健全育成事業委託料など195万7,240円を支出いたしました。

次に、3目公民館費の支出済額は7,296万3,351円で、13節で公民館振興事業委託料5,473万2,458円や19節で自治公民館施設整備事業補助金673万9,000円などを支出しております。

次のページ、4目図書館費では、11節で図書購入費が減少したことなどから、目全体では前年度対比5.9%、122万1,272円減の1,935万6,375円の支出となりました。

次に、5目芸術文化費の支出済額は、主に前年度に15節及び22節で大明神ザクラ保護整備関連の支出をしたことから、前年度対比55.7%、695万9,519円減の553万5,096円の支出となりました。

次に、次のページ、6目市民文化会館費は、支出済額2,728万2,308円となりました。13節で自主事業委託料が減少したことなどにより、前年度対比950万9,338円、25.8%の減となっております。

次に、122ページ、7目置賜生涯学習プラザ費では、13節で生涯学習プラザ業務委託料1,212万6,437円を含む1,930万4,617円などを支出し、目全体では3,215万4,996円を支出いたしました。

8目文教の杜ながい費の支出済額は1,119万9,654円で、前年度に11節で豪雪関係の施設修繕料を支出したことなどにより、前年度対比では25.3%、380万2,903円の減となっております。

次に、123ページ下段の5項保健体育費の支出済額は1億2,657万6,600円で、予算執行率は98.9%であります。

1目保健体育総務費では、各種大会の開催や事業展開のための委託料、負担金などを含む464万4,352円を支出し、また125ページ、2目体育施設費では、主に11節及び13節で減少があったことから、前年度対比20.6%、443万8,870円減の1,713万546円を支出しております。

次に、126ページ、3目学校給食費では、13節で調理等業務委託料4,719万7,500円を含む6,526万5,816円を支出しましたが、前年度に食缶洗浄機更新工事費を支出したことなどから減少があり、目全体では前年度対比1,003万1,299円、8.7%減の1億480万1,702円を支出してお



ります。

次に、128ページをお開き願います。11款の災害復旧費につきましては、平成19年6月29日から30日にかけて発生しました集中豪雨の災害復旧に関する支出でございます。支出済額は1,776万9,120円で、予算執行率は97.7%となりました。歳出総額に占める構成比率は0.2%であります。

1 項公共土木施設災害復旧費の支出済額は283万1,648円で、予算執行率は99.9%であります。

2 項の農林水産業施設災害復旧費の支出済額は1,493万7,472円で、予算執行率は97.3%であります。

1 目農地農業用施設災害復旧費では1,460万1,472円を、2 目林業施設災害復旧費では33万6,000円を支出しております。

次に、次のページ、12款公債費の支出済額は17億1,339万8,367円で、予算執行率は99.9%となりました。歳出総額に占める構成比率は16.1%であり、前年度対比では1億6,300万9,900円、10.5%の増となっております。

次に、130ページ、13款諸支出金の支出済額は1億4,148万687円で土地開発公社より清水保育園用地を取得しております。

最後に、131ページの14款予備費でございますが、予算から15万9,705円を充用し、不用額は184万295円となりました。

以上から、歳出合計は106億4,488万3,170円で、全体の予算執行率は97.8%となりました。前年度対比の伸び率は1.0%、金額では1億146万7,371円増加しております。歳入合計から歳出合計を差し引いた2億3,842万3,490円が残額となりました。また、実質収支額は翌年度に繰り越すべき財源の562万2,000円を差し引いた2億3,280万1,490円となって、決算を終了したところでございます。なお、単年度収支額は7,453万2,766円の黒字となっております。

以上が平成19年度一般会計歳入歳出決算の計数等の概要でございますが、細部につきましては、ご質問により担当課長等からご説明申し上げますので、よろしくご審査くださいますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成19年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成19年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算の2件について。

浅野敏明市民課長。

○浅野敏明市民課長 おはようございます。

それでは平成19年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

7ページをお開き願います。歳入につきましては、収入済額合計が28億2,495万9,981円で、前年度と比較しまして1億9,861万2,908円、7.6%の増となっております。調定額に対しましては92%となっております。

次ページをお開き願います。支出済額合計26億6,666万6,172円で、前年度と比較しまして2億1,438万1,726円、8.7%の増となっております。予算現額に対する執行率は86.9%となっております。歳入歳出差し引き額1億5,829万3,809円は、翌年度に繰り越しをさせていただきます。決算といたしたところでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。133ページをお開き願います。

歳入でございますが、1 款1 項国民健康保険税は、調定額10億5,956万1,243円に対しまして、収入済額8億1,531万4,685円で、割合は76.9%となっております。また、収入総額の28.9%を占め、前年度と比較しまして1,056万2,345円、1.3%の減となっております。また、不納欠損額は165件、1,359万9,665円、収入未済額は2億3,083万2,693円で、前年度より1,660万9,080円、7.8%増となっております。

1 目一般被保険者国民健康保険税、1 節医療